

ち 稚アユ遡上見学会の延期について 【ながらがわかこうぜき長良川河口堰】

平成27年5月7日付けでご案内させていただきました5月14日開催予定の稚アユ遡上見学会につきましては、台風6号の影響のため、誠に勝手ながら以下の日時に変更させていただきます。

- ① 日 時：平成27年5月21日（木）15：00～
- ② 場 所：長良川左岸 魚道観察室にて
- ③ 集合場所：長良川河口堰管理所 2階大会議室
- ④ 参加を希望される方は、5月20日までに、問い合わせ先まで、記者クラブ名、社名、参加人数の連絡をいただきますようお願いいたします。



平成27年5月12日



みず し げん き こう
独立行政法人水資源機構長良川河口堰管理所

発表記者クラブ

中部地方整備局記者クラブ
岐阜県政記者クラブ
三重県政記者クラブ
第二県政記者クラブ（三重県）
桑名記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 長良川河口堰管理所

総務課長 西川（にしかわ）

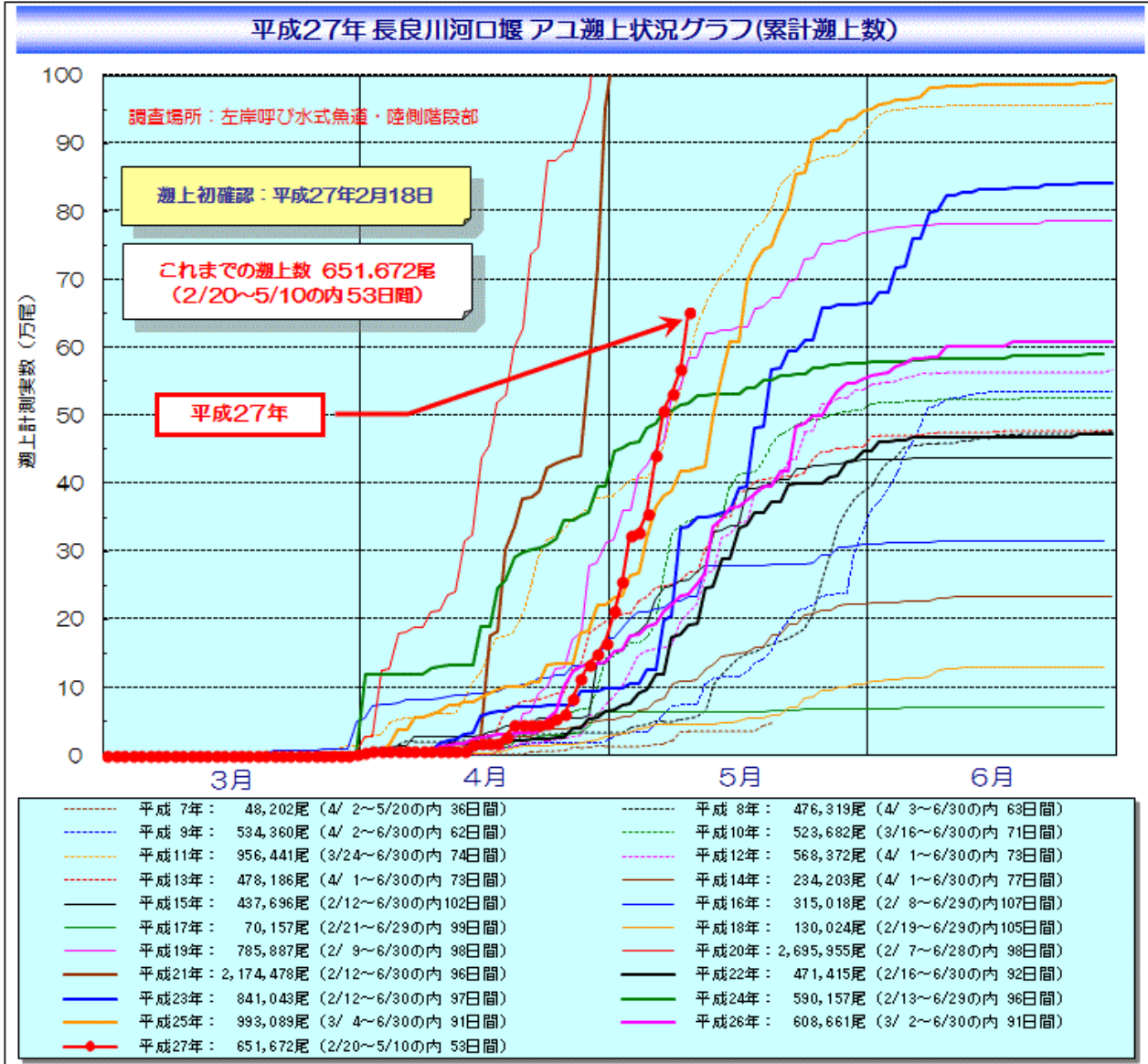
環境課長 中蘭（なかぞの）

電話：0594-42-5012

◆アユの遡上状況

平成27年5月10日時点での遡上数は651,672尾です。

この遡上数は、毎年の遡上数を比較する目安として、長良川河口堰の魚道のうち1箇所を調査しているものです。



(参考：アユの一生)

アユは、通常、春に川を遡り、夏に上流でなわばりを作り成長して、秋に川で産卵し、ふ化したアユの仔魚は海へ降下し、親アユは産卵後に一生を終えます。そのため年魚とも、独特の香りがすることから香魚とも言われます。



(平成27年4月19日 長良川河口堰呼び水式魚道を遡上する稚アユ)



(長良川のアユ：成魚)

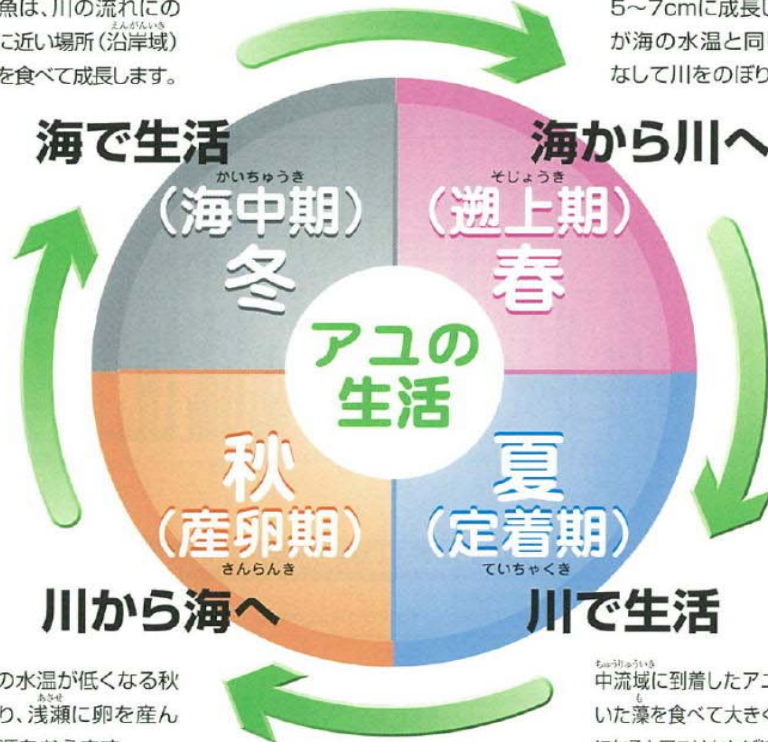
アユの一生



卵からかえった仔魚は、川の流れにのって海まで下り、岸に近い場所（沿岸域）で動物プランクトンを食べて成長します。



5~7cmに成長したアユは、川の水温が海の水温と同じになる頃におれをなして川をのぼり始めます。



成熟したアユは川の水温が低くなる秋になると下流におり、浅瀬に卵を産んだ後一年の短い生涯をおえます。



中流域に到着したアユは、川の石の表面についた藻を食べて大きくなります。また、この頃になるとアユはなわばりをつくるようになります。

